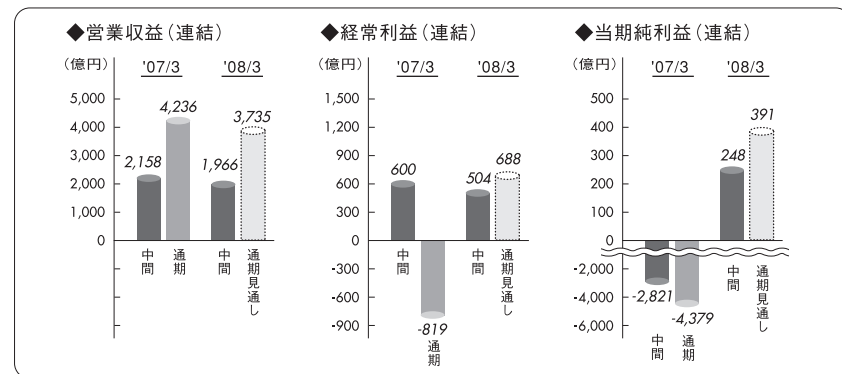


2008年3月期 中間連結決算のご報告

今期中間決算にて、前期末の赤字から
計画通りの黒字化を達成しました。

2008年3月期中間決算は、連結ベースで営業収益が1,966億円、経常利益が504億円となり、おかげさまで計画通りの黒字化を達成することができました。アコム単体では営業利益、経常利益ともに、当初の通期見通しを187億円上方修正する成果をあげています。利息返還請求は、2009年3月期まで高止まりで推移すると予測。前期末に利息返還損失引当金を4,900億円計上しており、経営の安定性は保たれていると考えています。



より強い経営基盤の確立へ向けた改革は、順調に進んでいます。

アコムでは改正貸金業法の施行や、激化の一途をたどる競争を乗り越えて新たな成長を遂げるため、さまざまな経営改革に取り組んでいます。コンプライアンス態勢の確立、ビジネスモデルの変革によるコスト削減、サービス力、顧客開拓力の向上、プロフェッショナルな人材の育成等をすすめ、いま、着実に競争力を強化しています。

アコムは、
新しい
アコムへ。

債権の質的向上をめざした戦略が、効果をあらわし始めています。

債権の質を向上させるため本年4月より審査を厳格化したことにより、成約率は低下しましたが、8月より一部回復しております。これは、6月に業界に先駆けて実施した金利引き下げの効果により優良なお客さまのお申し込みが増加傾向にあること、当社の強みである与信審査システムの成果、さらにインターネット申込手続きサービスの拡充という営業体制の強化が奏功したと分析しています。今後もより一層、債権の質の向上を追求してまいります。

三菱UFJフィナンシャル・グループにおける
消費者金融事業の中核を担っています。

アコムと株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)との提携は、経営環境の激変等により若干の遅れを生じながらも、一步一步着実に前進を続けてまいりました。本年11月からは三菱東京UFJ銀行が新しく提供する個人向けカードローンの保証業務を開始。MUFGとの提携戦略は、今後ますます加速していくものと考えております。

もっと多くの皆さまに愛される企業ブランドとなります。

アコムは、これまで以上に消費者保護をはじめとする社会性を重視した企業グループとなり、消費者信用市場の健全な発展に貢献していきます。そして、株主の皆さまのご期待にしっかりとお応えし、誇りに思っただけの企業ブランドとなることをめざしてまいります。これからのアコムに、どうぞ注目ください。



アコム株式会社 本社 東京都千代田区丸の内2-1-1 TEL (03) 5533-0811 (代表)
●登録番号関東財務局長(8)第00022号 ●東京都貸金業協会会員(00302号) 外各道府県貸金業協会会員 ●JCFA会員(66049号) 証券コード8572

いま、アコムのIRサイトで中間決算説明会の録画版を配信しています。ぜひご覧ください。 www.acom.co.jp/ir/